



建築士定期講習や教育事業を通して 建築家の活動を支援する

株式会社建築資料研究社は、1969年に建築関連書籍の出版・販売会社として創業しました。1976年には建築関連の資格取得のための学校「日建学院」を開校し、現在全国に244校を展開。建築士や施工管理技士など建築関連の資格取得のための講座や、CADなどのスキルアップ講座を数多く開講しています。平成20(2008)年に建築士事務所に所属する建築士に定期講習の受講が義務付けられてからは、JIAと共同で建築士定期講習も開催しています。馬場栄一社長に、建築資料研究社のこれまでの歩みと、建築業界に対する思いをうかがいました。

住宅プラン集を発行する 出版社として創業

「日建学院」という名前の方が皆さんに知られていると思いますが、実際の会社名は株式会社建築資料研究社です。1969年に私の父が創業し、昨年創業50周年を迎えました。

父はもともと設計事務所に勤めており、お客様の要望を聞きながら住宅の設計をしていました。ちょうど1960年代後半、家をどんどんつくれという時代です。次々に図面を起こすうちに、家族構成や道路付け、面積、予算によって似たプランが生まれることに着目します。住宅のプラン集があれば打ち合わせをもっと効率的に進められると考え、一級建築士取得後に独立して、出版社建築資料研究社を設立しました。

今はインターネットで簡単に検索できますが、その当時は他の人の図面を見て参考にすることはできません。ですから、住宅のプラン集に続き、外観やキッチン、水廻りなどを特集した原図集を次々に出版しました。お客様との打ち合わせ資料として使いやすかったようで、大変好評いただきました。

資格取得のための学校 「日建学院」を設立

創業当時、建築士試験のための参考書などはなく、父自身、働きながら勉強するのに大変苦勞をしたそうです。その経験から、1973年に建築士資格を取得するための講座として、カセットテープの「建築士養成講座」を制作し



建築関連の書籍や参考書、雑誌などを発行している

販売しました。しかし、テープを聞くだけの講座では途中で諦めてしまったり、買って開けていないことが多く、あまり活用されていないことがわかりました。きちんと役に立つためには学校が必要ということで、1976年に「日本建設実務学院(現 日建学院)」を池袋駅前に開校しました。

生徒は仕事をしながら通うため、講座を休むこともあります。その人たちの補講用に講座をスタジオ収録するようになり、それが次第に確立され、今では教えるのが上手な講師によるクオリティの高い映像講義が当校の特徴になっています。現在は建築士以外にも施工管理技士や宅建など、建築に関する教育をやらせていただいています。

出版では、『住宅建築』や『コンフォルト』、『法令集』などを発行し、昨年17年ぶりに『造景』が復刊しました。

建築士定期講習の受講費を JIAの教育活動の原資に

日本建築家協会(JIA)とは、建築家の育成を目的に、2008年に共同でNPO法人建築家教育推進機構を立ち上げ、JIA監修のもと日建学院のノウハウを活かした建築士定期講習を実施しています。JIA会員または所員の方がこの講習を受講しますと、受講費の一部がJIA内の教育活動の原資に還元されます。勉強会や若手の活動など、建築家の皆さんの活動をより充実させるためにも、ぜひこのJIAと日建学院共同の定期講習をご利用ください。全国にある日建学院で受講でき、建築家会館での開催も始まっています。

当社はこれからも資格取得のサポートに加え、学生設計展の共催など、建設業界や建築の道に進む学生・若者を応援していきます。

株式会社建築資料研究社 日建学院

<https://www.ksknet.co.jp>

資格取得のための学校「日建学院」を運営。建築関連書籍の発行や、建築士定期講習も実施。建築学生向けに情報を発信するサイト「LUCHTA(ルフト)」も運営しています。

東京都豊島区池袋2-50-1 TEL:03-3986-2594(代)

■建築士定期講習についてのお問い合わせは、TEL:0120-243-229まで。

LUCHTA
[ルフト] 建築系学生のための情報サイト